



レポートとは何か？

作成日 2015 年 1 月

作成者 理工学研究科 M1

大学生の皆さんへ。授業で急に課されたレポート課題。何を書けばいいの？ どうやって書くの？ そもそもレポートって何？ そんなあなたへ、レポートの書き方をまとめました。

1. 「レポートを書くこと」の意義

- ・「書く事には、論理的思考、コミュニケーション力、メディアリテラシー、創造性など、社会においてこれから活躍する人間にとって必要な多用な能力が含まれている」（鈴木 2009）
- ・「問題を見つけ、それに対して論拠のある主張を行うことは、卒業後の社会生活の様々な場面において必要とされている」（鈴木・杉谷 2012）

⇒大学生の間だけではなく、社会でも様々な場面で必要な力

2. レポートとは

- ・ある問題について資料を集め、整理しながら思考し、何らかの結論を導き出し、作業プロセスを論述という形で表現したもの
(花井・岩松 1997)
- ・(1) 問いがある。(2) 主張がある。(3) 論証がある。
(戸田山 2002)



3. 作文や感想文との違い

- ・作文・感想文 **著者の主観を伝える文章**
(思ったことを感じたままに書く文章)



- ・レポート・論文 **客観的な事実に基づいて、自分の意見を報告する文章**

※客観的とは、誰が見ても同じ受けとめ方をするという意味

4. レポートの柱

- ①問い（問題提起） **序論**
- ②答え（主張） **結論**
- ③論証（主張を裏付けるための事實的・論理的な**根拠**の提示） **本論**

← 主張を成り立たせる理由・理屈

+

主張が事実であることを明らかにする証拠

自分だけでなく、他者を納得させられるように

5. レポートの構成要素

- ・問題設定（何を問題として取りあげるのか）
- ・研究の背景（どういう背景から、その問題を取りあげるのか）
ex) 社会的情勢、状況
- ・先行研究の検討（その問題について、これまでの研究で、どういったことが明らかにされているのか）
- ・研究の目的・理由（先行研究の検討を踏まえて、この研究では何を明らかにするのか）
- ・データや文献による根拠（主張の裏付け・具体例）の提示
- ・主張（答え）の提示



6. 学生が書くレポート内容の傾向

- ・主張の裏づけ（根拠）がない、断定的な意見文
- ・文献の内容（抜粋）を列記し、つなげただけの文
- ・研究の背景、研究の動機について、自分や身近な人のエピソード紹介に終始する文
- ・問題を取り上げる意義（研究の意義）について、「将来の自分のため」や「これまでの自分を知るため」といった「自分のため」から広がらない文
(小林・杉谷 2012)



総じて→「言いたいことの」羅列になってしまう
どうして?→「問い」と「主張」が定まっていないから

7. 批判的読み

- ・批判的読みとは?
与えられた情報を鵜呑みにせず、複数の視点から注意深く、論理的に分析する読み方
- ・意義・効果
 - ・文献・資料の吟味、根拠の妥当性の判断を支えるスキル
 - ・「問い」を発見できる可能性
 - ・文章の添削、推敲をする上で役立つ力
 - ・日常的・社会的な場面で役立つ力

8. レポートのタイプ

- (1) 学習レポート：授業を通じて学んだことをまとめたもの
例)「今日の授業の内容について、要点をまとめなさい」
- (2) 読書レポート：本の内容を要約し、時には感想を述べるもの
例)「○○を読み、筆者が言いたいことを要約しなさい」
- (3) 実験・報告レポート：文献・実験など、調査の結果を報告するもの
例)「～について、文献（実験結果）に基づいて説明しなさい」
- (4) 論証型レポート：与えられたテーマについて論証するもの
 - ① 教員に与えられたテーマについて論じるタイプ
 - ② 自分で「問い」を立てて論じるタイプ

(吉田 1997、中澤ほか 2007、井下 2013)



参考文献

杉谷祐美子・小林至道（2012）

『レポート・論文についての学生相談とその対応方法』研修スライド資料、丸善株式会社、13-20、32

- ・小林至道「レポート・論文についての学生相談とその対応方法」、2014
- ・花井等・岩松篤『論文の書き方マニュアル-ステップ式リサーチ戦略のすすめ』有斐閣、1997年
- ・井下千以子『思考を鍛える レポート・論文作成法』慶応義塾大学出版会、2013年
- ・小林至道・杉谷祐美子「ワークシートに着目した論文発展プロセスの分析」『大学教育学会誌』第34巻1号、2012年
- ・中澤務・森貴史・木村康哲『知のナビゲーター』くろしお出版、2007年
- ・鈴木宏昭「はじめに」鈴木宏昭編、丸善プラネット株式会社、2009年
- ・鈴木宏昭・杉谷祐美子「レポートライティングにおける問題設定支援」教育心理学年報51集、2012年
- ・戸田山和久『論文の教室-レポートから卒論まで』日本放送出版協会、2002年
- ・吉田健正『大学生と大学院のためのレポート・論文の書き方』ナカニシヤ出版、1997年